

さくら第485号

令和 2年5月

さくら

発行所 さくらそらぼん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7:TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

あといち
できぬんだよ
なす
いまのことは
いましかできぬ
あつを

『今できること、今しかできないことは何』

健康で日々を過ごせるありがたさを、特に強く思うのは病気になっている人です。体が動かない、ぐっすり眠れない、食事がすすまなくやる気が失せていくなど、病気になるといろいろ不都合な事が起きてきます。

体が元気なときには、健康で過ごせることへのありがたさはあまり感じないものですね。

新型コロナウイルス感染防止のため3月2日(月)から休校が続き、5月の連休明けから一部の施設が緩和されますが、元の状態へと心待ちしていますが、まだ先のようにです。

連日、テレビや新聞などで新型コロナウイルス感染防止策が報道され、気分も落ち込みますが、いましばらくガマンの毎日です。

毎日、みなさんはどのようにして時間をすごしていますか。学校からの宿題や前の学年の復習などをがんばっていることでしょう。

夏休みの40日間とちがい、いつから自由に行動できるかという決まりがないから、目標の立て方もはっきりせず、何となく1日が終わるといふこともあるでしょう。

ものは考えようで、コロナ休校はどうしようもないので、いかにして前向きに元気いっぱい過ごすかを自分なりに考え、実行しましょう。

今までは学校で授業を受け、友だちとあそび、仲良く話し、運動で身体を動かし、給食で楽しくおいしく強い体を作ってきましたが、今はそれらがすべてなくなりました。

学校では時間わり表があり、次はどんなことをするか分かっているので行動がすばやく

できますが、今はそのような時間表がありません。だから、自分で計画をたて目標にむかってやり続けねばなりません。

大事なことは生活サイクルをきちんと守ることです。みなさんが大人になり仕事で職場へ行けばその日の計画を自分の責任で決めねばならないことが多くあります。

決められたとおりに行う仕事もいろいろありますが、常に、自分で判断し、守り、続けるなかで良い結果を出さねばなりません。

今しかできないことが多くあります。このコロナ休校でしかできないことがあります。外へ出かけることもままならない日々をどう過ごし、登校できるようになった時、がんばってきた結果を発揮してください。

今のコロナ休校に対してどのようにがんばってきたか、その経験がこれからの自分の大きな財産となり、力となり、乗り切ったあとには強い心の人間になります。

今のような大苦境をがんばりぬいたという自信がこれから体験する多くの事柄への助けになります。

私はこの休み期間を利用し、本部教室の壁に新しくクロスを貼り、窓ワクにペンキを塗り、下足場も塗り、玄関前のビニール板を張り替え、トタンやワクにペンキも塗りました。

休塾の日から簡単な日記をスマホに打ち込んでいます。毎日を計画的に過ごし次への改善策を考えるためです。練習プリントを色々作り、通塾の時に使えるよう印刷します。

以前に送付したハガキの都道府県名と福井県の市と町の名を覚えましたが。

4月28日からホームページの「お知らせ蘭」に数字遊びの問題を掲載していますので利用ください。検索は「さくらそらぼん春江」。

今しかできないこと、今だからできることを考え、実行しましょう。それが、これからのことに大きく役立ち、自信となってあなたの行動にやくだちます。何を、どうするかによって新しい自分のチカラと可能性を発見します。頑張ろう。